

「学校経営ビジョン」

地域の特性である温かで落ち着いた生活環境を生かし、『かかわりと見とどけの教育』を推進し、一人一人の生徒の実態に即した質の高い教育活動を展開することにより「知」「徳」「体」の調和のとれた人間形成に努め、保護者や地域社会に信頼される、人づくり、学校づくりに全職員総力をあげて取り組む。

1 「かかわりと見とどけ～生徒と向き合う時間を大切に～」
2 共有・協働・共創

この2つを念頭に「地域とともにある学校」づくりに全職員一丸となって取り組みます
校訓『健康・自立・敬愛・向学』と『めざす学校像・教師像・生徒像』の実現

★生徒とかかわり向き合う中で、学校の課題やめざす姿を共有し、三位一体となつてともに活動し、山之口中ならではの活動を創っていきます。

学力の向上

I 学業指導の徹底を継続していきます。

- 1 授業開始2分前着席と授業準備を徹底し、学ぶ姿勢を整えます。
- 2 「立腰」の姿勢を守り、授業への集中を高めます。
- 3 「はい」という返事、挙手の姿勢、そして大きな声での発表を心がさせます。
- 4 授業に必要なものの準備、忘れ物〇を目指す支援を行います。

II 授業での指導力向上を図ります。

- 1 生徒のわかった・できたという感覚を大切にする「わかる授業」を展開します。
(1単位時間の授業の充実、生徒の主体的な学び・探究的な学びを実現します)
- 2 生徒一人一人の理解度を確認しながら、個別指導の充実を図ります。
- 3 授業改善を図り「生徒が主役」の授業を創り、職員相互及び小学校との十分な連携を図ります。
- 4 ICT機器や学校図書を効果的に活用し、より高い「学び」を目指します。

生徒指導の充実

I 生徒と向き合う時間を大切にします。

- 1 学年主任を中心に学年職員が連携し、生徒に寄り添いつつ、表情の変化を確認し、一人一人の声に耳を傾けます。
- 2 生徒の様々な状況を全職員で共通理解し、全員で支援・指導できる体制づくりに努めます。
- 3 授業をはじめ様々な活動の場で、生徒一人一人が輝くチャンスを設け、生徒の自己存在感を高めます。(一人一人が輝きを放つための指導と支援)
- 4 教育相談の機会を積極的に設定し、生徒に寄り添いながら課題解決を図ります。

II 毅然とした指導と規範意識の醸成を図ります。

- 1 いじめは、絶対に許されることのない行為であることを意識させ、毅然とした指導を行います。(生徒指導部と生徒会でタイアップします)
- 2 学校のきまり・規則については、職員で共通理解し、生徒にルールメイキングの視点もたせ、段階的な指導を行います。(生徒理解の上での指導を心がけます)
- 3 生徒主体の活動の充実を図り、思いやりの心を育てながら、地域に貢献する活動を継続していきます。(ボランティア精神の向上へ⇒清掃や花配り活動、奉仕活動等の充実)

家庭（保護者）・地域との連携・協働

○ 家庭・地域との連携を大切にし、「地域とともにある学校」を創ります。

- 1 教師と保護者の間に生徒をおき、双方向から支援・指導していく形を目指します。そのために、保護者の声には真摯に耳を傾け、お互いによりよい支援・指導の方向を探っていきます。
(生徒への特別な指導内容やケガ等については、その日のうちに連絡します)
- 2 生徒・教師・保護者が三位一体となつて、学力向上や豊かな心をもつ生徒の育成をめざします。また、小学校との連携を強化し、小中一貫教育の推進に努めます。
- 3 「弥五郎どん」「人形浄瑠璃」「上げ馬」など山之口町に伝わる伝統文化への積極的参加を促すとともに、地域の力を学校教育に生かすための企画を行い、地域とともに歩む学校をめざします。
(学校運営協議会、まち協・民児協・青少協・山之口未来創造塾との連携・協働)